



関埼灯台化粧直し完了

【大分】九州と四国の間にある豊予海峡周辺の海上交通を123年にわたって守り続ける関埼灯台（大分市佐賀関）の塗り替え工事が完了した。管轄する大分海上保安部は21日午前10時から、記念の一般公開をする。担当者は「白く輝く灯台の外観や、普段見られない内部を見て親しんでほしい」と話している。

佐賀関半島の先端にある同灯台（高さ約11メートル）は、1901年7月20日に初点灯した。明治時代から現存する鉄道灯台は全国でも数少なく、九州では唯一。当財に登録されている。時は道路がなく、高さ約60メートルの断崖まで船で鉄板を運んで建てられたという。2022年には国の有形文化財に指定された。剥がした後、傷んだ箇所を塗り替える。1995年以来29年ぶり。今年1月に工事を始め、旧塗装を全て削がした後、傷んだ箇所を塗り替える。1995年

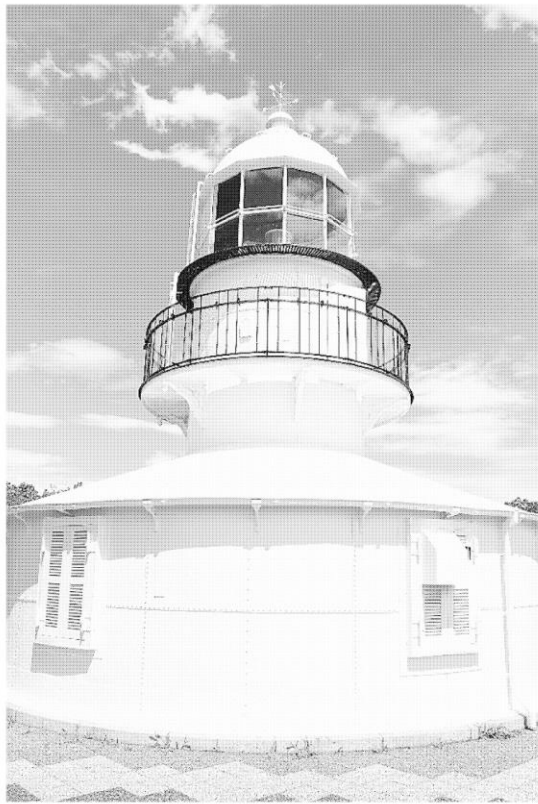
29年ぶり輝く白さに

21日に一般公開

補修や下地処理などを経て4月に完了した。費用は約2500万円。

同灯台へは、県道佐賀関循環線沿いの駐車場から「関埼稲荷」の鳥居をくぐって徒歩約10分。当日は午後3時まで、23時先まで光を放つLED（発光ダイオード）灯器がある最上部の「灯ろう」や、途中のテラス、事務室を公開する。「内部の階段が急なので、動きやすい服装で」と担当者。また、近くにあるJX金属関崎みらい海星館の2カ所を巡るスタンプラリーも開催し、参加者に数量限定の缶バッジを配る。

海星館は2022年から、同灯台の「航路標識協力団体」に指定されている。川田政昭館長（60）は「館内から灯台が見えるので『行きたい』という人は多い。灯台の歴史や役割も伝えられたら」と話している。問い合わせは大分海上保安部交通課（097・523・2197）へ。



29年ぶりに塗り替えられ、白く輝く関埼灯台＝大分市佐賀関



関埼灯台について、大分海上保安部職員の説明を聞くJX金属関崎みらい海星館の職員

（庄亨）



〔問①〕 関埼灯台は何年にわたって海上を見守っていますか。

〔問②〕 塗り替えは何年以来の何年ぶりですか。

〔問③〕 「大分県にあるほかの灯台を調べよう。」